

カボチャ (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	べ と 病	疫 病	菌 核 病	炭 疽 病	苗 立 枯 病	つ る 枯 病	う ど ん こ 病	白 斑 病	軟 腐 細 菌 病
バイオキパー水	-		*b	-									◎
マスタピース水	-		1	-									◎
Zボルドー水	M1		-	-									◎
イオウFL	M2		*b	-							◎		
ハツパ乳	NC		-	-							◎		
トップジンM水	1		1	5								◎	
ベンレート水	1		1	3								◎	
アフェットFL	7		1	3						◎	◎		
ストロビーFL	11		1	3	◎						◎		
ライメイFL	21		1	4	◎	◎							
ランマンFL	21		1	3	◎	◎							
フルピカFL	9		1	4							◎		
スミレックス水	2		14	3			◎						
サルバトールME液	3		1	3							露		
スコア顆水	3		3	3							◎		
トリフミン水	3		1	5							◎		
ラリー水	3		1	3							◎		
ポリオキシシンAL溶	19		7	3						◎	◎		
アリエッティ水	P7		1	3	◎	◎							
キノンドー水40	M1		7	3	◎			◎					
サンヨール乳	M1		1	4							◎		
ジマンダイセン水	M3		21	2	◎	◎		◎		◎			
ペンコゼブ水	M3		21	2	◎	◎							
オーソサイド水80	M4		*a	5					◎				
			14		◎			◎					
ダコニール1000FL	M5		7	3	◎			◎			◎	◎	
ベルコートFL	M7		7	4							◎		
モレスタン水	M10		3	3							◎		

カボチャ (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	べと病	疫病	菌核病	炭疽病	苗立枯病	つる枯病	うどんこ病	白斑病	軟腐細菌病
テーク水	3・M3		21	2	◎	◎					◎		
シグナムWDG	7・11		1	3							◎		
アミスターオブティFL	11・M5		7	3	◎	◎					◎		
パンチョTF顆水	U6・3		1	2							◎		
フォリオゴールドFL	4・M5		7	3	◎	◎							
ベジセイバーFL	7・M5		7	3	◎					◎	◎		
リドミルゴールドMZ顆水	4・M3		30	2	◎	◎							
ショウチノスケFL	9・U13		1	2							◎		
ポリベリン水	19・M7		7	3						◎	◎		
フェスティバルC水	40・M1		3	3	◎	◎							
カンパネラ水 ベネセット水	40・M3		21	2	◎	◎							
カーニバル水	40・M5		7	3	◎						◎		
プロポーズ顆水	40・M5		7	3	◎	◎					◎		
ベトファイター顆水	40・27		3	3		◎							

*a:播種後～2～3葉期まで *b:発病前～発病初期
露:露地栽培

カボチャ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	カ ボ チ ヤ ミ バ エ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ネ キ リ ム シ 類	ウ リ ハ ム シ	コ ガ ネ ム シ 類 幼 虫	ケ ラ	ハ ダ ニ	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ
スミチオン乳	1B		14	3	◎	◎										
ダイアジノン粒5	1B		*a	2						◎			◎			
			2I	4								◎				
ネマトリンエース粒	1B		*c	1												◎
マラソン乳	1B		1	5	◎						◎				◎	
アグロスリン乳	3A	劇	1	5	◎	◎			◎							
アディオソ乳	3A		1	5	◎											
ロディー乳	3A	劇	3	3	◎											
アドマイヤー1粒	4A		*b	1		◎	◎									
アドマイヤー顆水	4A	劇	*f	2	◎											
アルバリン顆溶 スタークル顆溶	4A		1	2	◎	◎										
			*e	1	灌											
アルバリン粒 スタークル粒	4A		*b	1	◎	◎										
ダントツ溶	4A		3	3	◎				◎			◎				
ダントツ粒	4A		*b	1	◎											
モスピラン顆溶	4A	劇	1	2	◎				◎			◎				
モスピラン粒	4A		*d	1	◎											
			*b	1	◎											
ディアナSC	5		1	2					◎							
アフーム乳	6		1	2			◎									
コルト顆水	9B		1	3	◎	◎										
ニッソラン水	10A		1	2												◎
コテツFL	13	劇	1	2				日								
カスケード乳	15		1	3					ト							
トリガード液	17		1	3					◎							
カネマイトFL	20B		7	1												◎
サンマイトFL	21A	劇	3	2		◎										
モベントFL	23		7	3	◎	◎										◎
フェニックス顆水	28		1	2						◎						
ベネビアOD	28		1	3				◎	◎							
ウララDF	29		7	2	◎											

*a:播種時又は定植時 *b:定植時 *c:定植前 *d:播種時
 *e:定植前日～定植時 *f:収穫前日まで(但し露地栽培については着果後から)
 日:日本かぼちやにミナミキイロアザミウマでの登録 ト:トマトハモグリバエ
 灌:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットに灌注処理する。なお、この使用方は、土耕栽培による苗には使用できない。

カボチャ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	苗床期 ～生育期	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスターオブティフロアブル 1000倍 アリエッティ水和剤 400～800倍 ジマンダイセン水和剤 600倍 ダコニール1000(FL) 1000倍 	
疫病	定植前 生育期	<ul style="list-style-type: none"> 排水不良の圃場での栽培をさける。 発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。 アリエッティ水和剤 400～800倍 ジマンダイセン水和剤 600倍 	
うどんこ病	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。 イオウフロアブル 500倍 ダコニール1000(FL) 1000倍 トリフミン水和剤● 3000～5000倍 フルピカフロアブル 2000～3000倍 	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
モザイク病	生育期	<ul style="list-style-type: none"> アブラムシ類を防除する。 	
アブラムシ類	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオン乳剤 2000～3000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000～4000倍 	
コナジラミ類	定植時 生育期	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤を植穴に施用し、土とよく混ぜる。 アドマイヤー1粒剤 2g/株 発生を見たら次の薬剤を散布する。 サンマイルフロアブル 1000～1500倍 	
ウリハムシ	生育期(成虫)	<ul style="list-style-type: none"> 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 マラソン乳剤 1000倍 モスピラン顆粒水溶剤 4000倍 	
ネコブセンチュウ	播種前 定植前	<ul style="list-style-type: none"> 床土は消毒する(土壌消毒の項参照)。 1. 作付予定地で、前作物に寄生があったところでは土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。 2. 次の薬剤を施用し、土とよく混ぜる。 ネマトリンエース粒剤 20kg/10 a 	